

わ く わ く  
**WAKU WAKU**

熊野で一番小さなクラスの一番大きな挑戦

## 30名を超える参観者の前で

～県内各地の約200名の教職員、関係者が来校～



先月22日(金)に、本校で「広島県小学校道徳教育研究大会」が開催されました。前の通信でもお知らせしましたように、約200名のお客様が熊二小に集い、5つの教室に分かれて道徳の授業を参観されました。4年1組の教室には、子供の人数の4倍以上に当たる34名の来賓や教職員が授業を参観されました。このような環境で授業をすることは、子供たちにとって初めての経験であり、いつもとは違う緊張感をもつ子供もいました。しかし、授業が始まってしまうと、積極的に自分の考えをワークシートに書き出したり、発言したりして、普段の授業の感覚が戻ってきました。授業後の分科会で、参観された方々からも、子供たちの授業に向かう姿に高い評価をいただきました。

いよいよ本番になりました。予想以上にたくさん(のお客さんが)いて、発表するとき声がおりにくいのと、発表することをわすれてしまいました。でも、いつもどおりにじゅ業ができてよかったです。

今日の道とくは、いろいろな人が見に来られました。正しいと思うことを学習しました。自分が正しいと思うことをできないときがあるので、できるようにがんばりたいです。きんちょうしたけど、発表もできてよかったです。

今日は、道とく研究大会でした。大ぜいの人が見てくれて、きんちょうしたけれど、発見できたことや意見をまとめることができよかったです。それに、1人2回以上の発表もできたし、みんながんばれたと思います。

～子供たちの日記やふりかえりノートから～